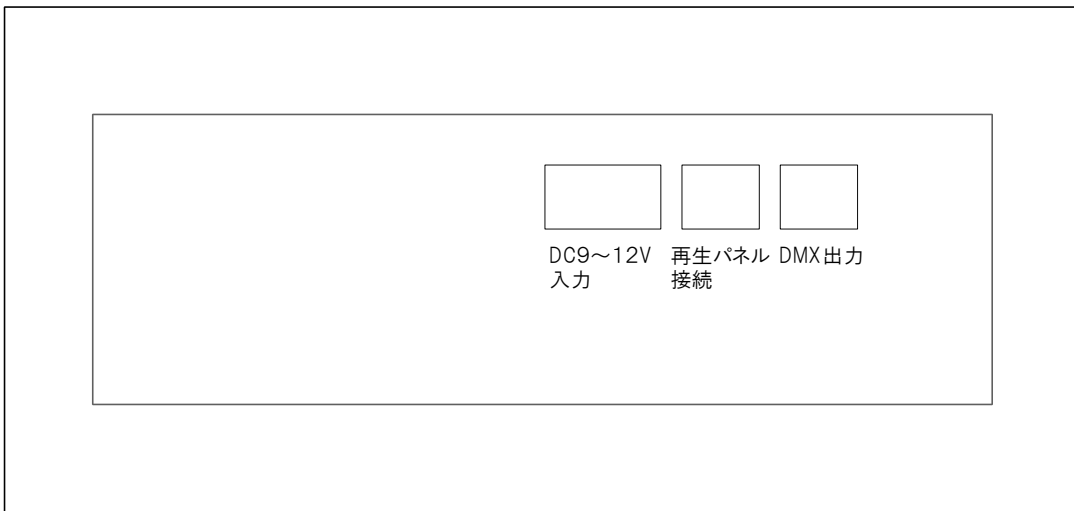
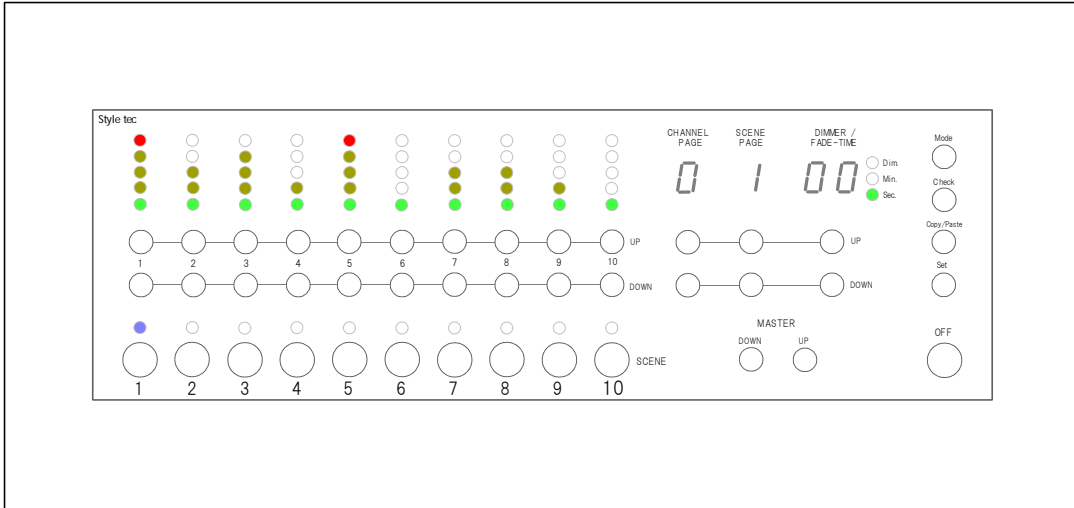


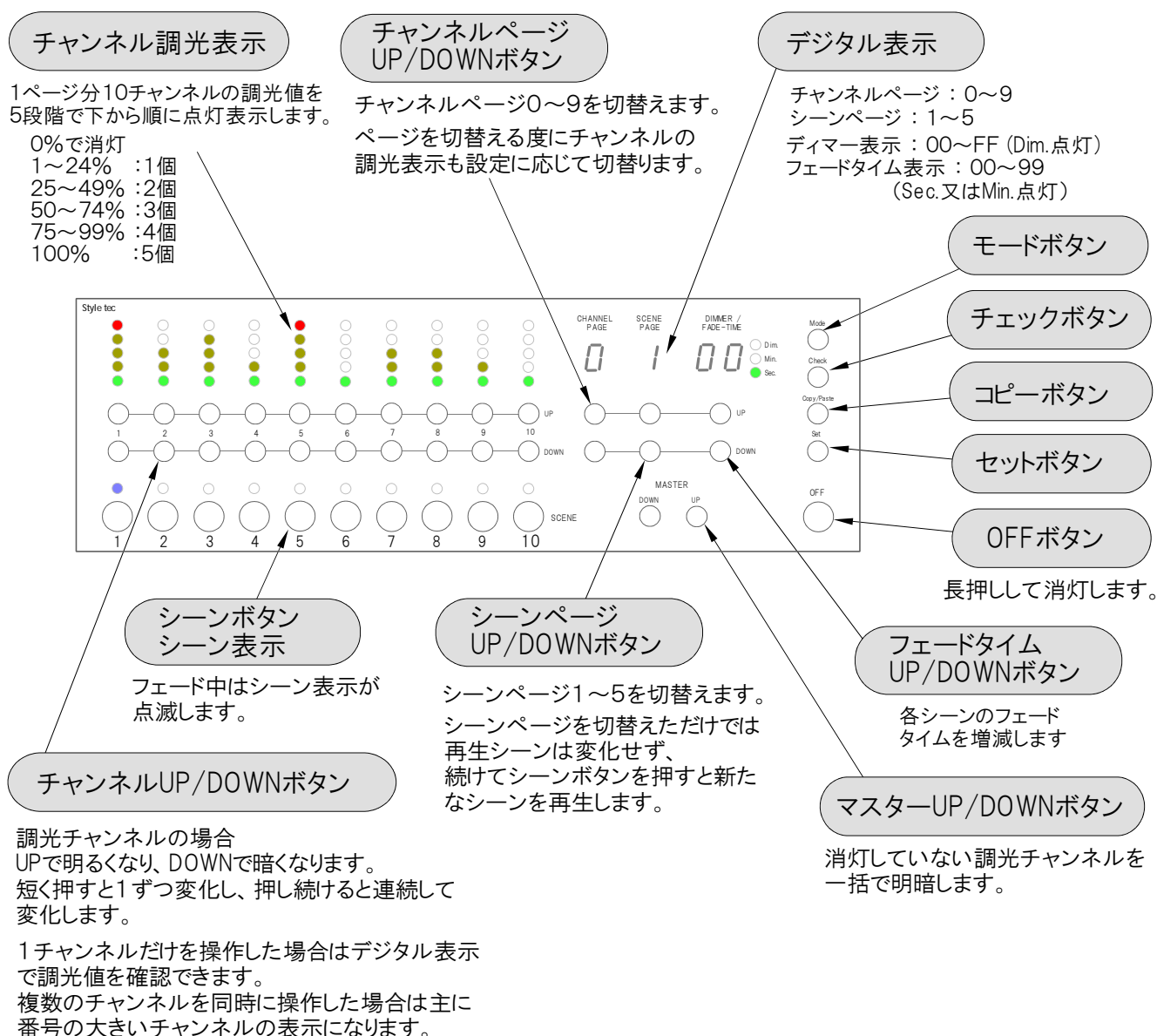
DS-TEN 取扱説明書

Ver.1.6
キーロックを拡張しました。



背面

スイッチボタン、表示部の名称と主な機能



モードボタン

他のボタンと一緒に押して、特別な動作モードに移ります。主に初期設定などで使用します。

チェックボタン

主に設置時などに回路の接続チェックのために使用します。調光チャンネルのみ動作します。

コピーボタン

設定済みのシーンを別の番号のシーンにコピーします。シーンページ毎のコピーもできます。

セットボタン

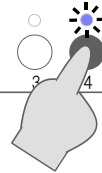
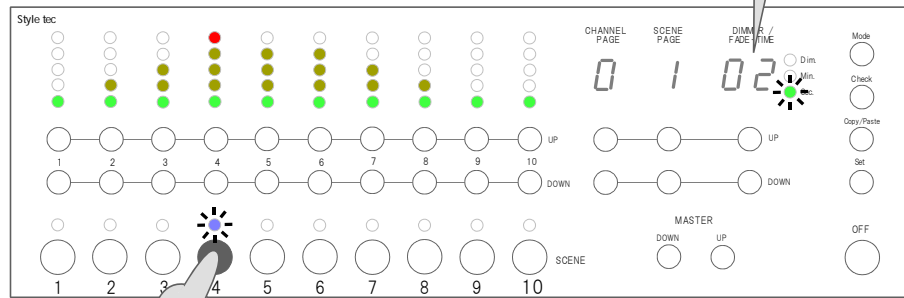
シーンの設定などの最後に押して設定値を内部に記憶します。特別な動作モードに入る時にも使用します。

OFFボタン

通常は長押しして消灯になります。短く押して調光設定などのキャンセル時にも使用します。

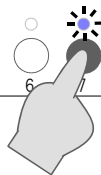
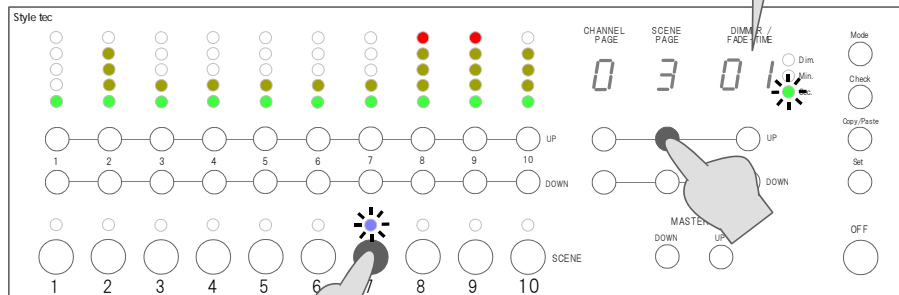
シーンを再生する

今のシーンページのシーンを再生する場合



シーンボタンを押す

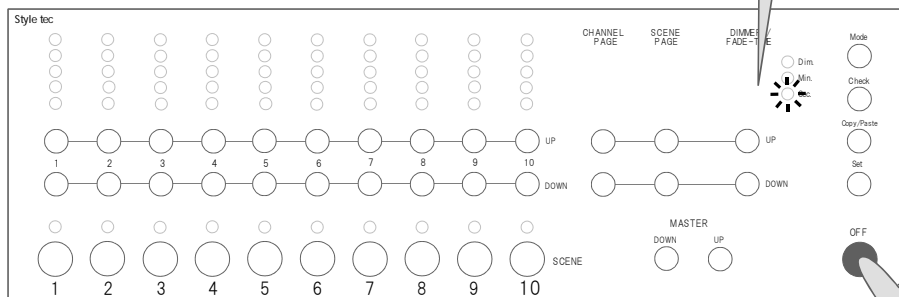
別のシーンページのシーンを再生する場合



② 次にシーンボタンを押す

① 先にシーンページを切替えて

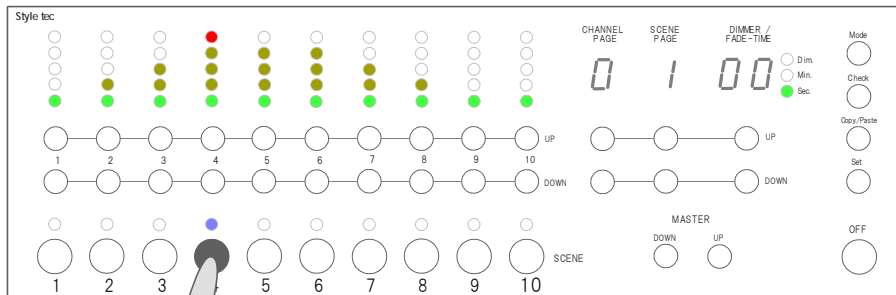
OFF (消灯) する



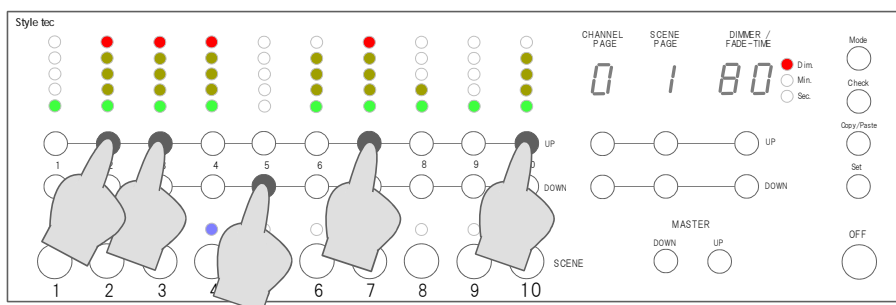
OFF ボタンを長押しする。

シーンの設定をする(1)

各チャンネルの明るさ設定

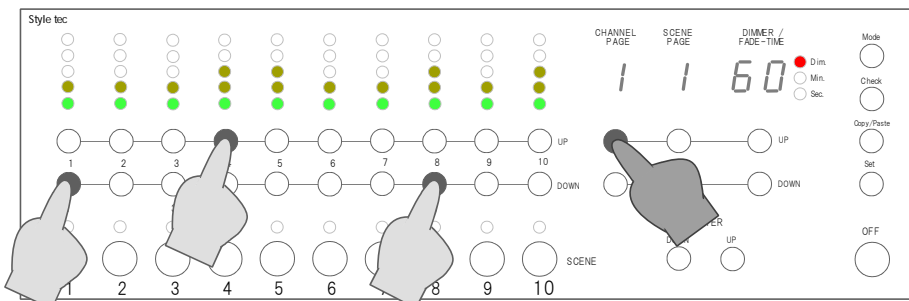


最初に設定(変更)するシーンのボタンを押します。



変更するチャンネルのUP/DOWNボタンを押して照明の明るさを変えます。

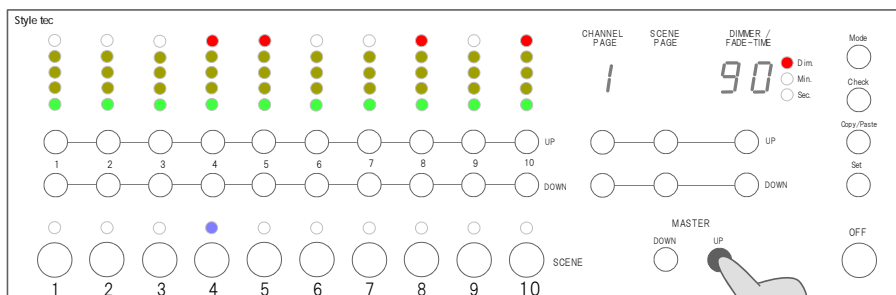
チャンネルページ



チャンネルページを切替えて他のチャンネルのUP/DOWNボタンを操作します。

マスターUP/DOWN

詳細は6ページを参照して下さい。

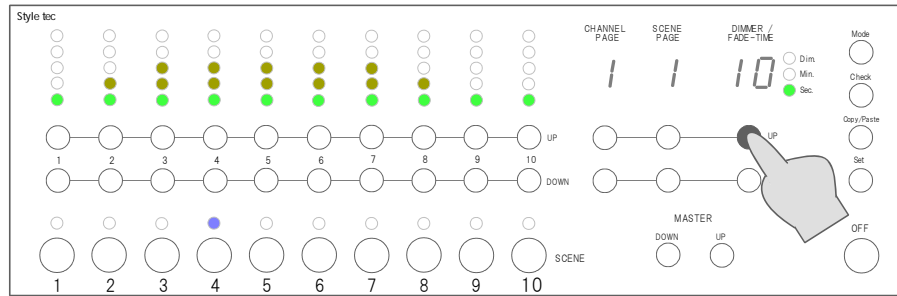


チャンネル調光の設定にはマスターUP/DOWNボタンも使用できます。

マスターUP/DOWNは、表示しているチャンネルだけでなく全てのチャンネルに作用します。

シーンの設定をする(2)

フェードタイムの設定

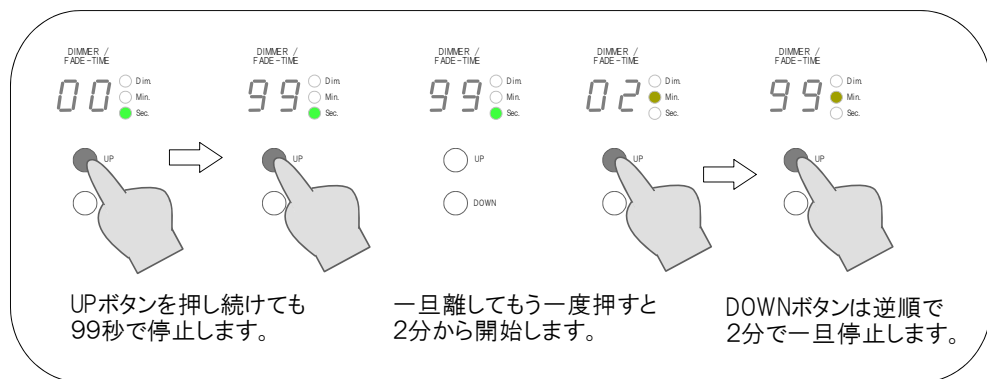


照明の設定が終わったらフェードタイムUP/DOWNボタンを押してシーンの変化時間をセッします。

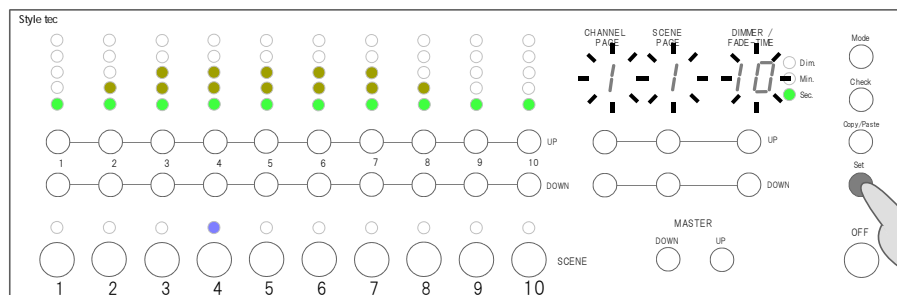
フェードタイムは 0~99秒(1秒単位)と、2~99分(1分単位)の間で設定できます。またフェードタイムはシーン毎に設定されるので、共通のフェードタイムはありません。

フェードタイムの設定だけを後で行うこともできます。

フェードタイムUP/DOWNボタンの動作



シーンの記憶



セットボタンで記憶します。

最後に セットボタンを押してメモリーに書込みます。これで1つのシーン設定が記憶されます。

セットボタンを1度押すと、デジタル表示全体が点滅します。もう一度押して 点滅が止まるまで押し続けてください。

セットボタンを1度押した状態で OFF ボタンを短く押すと記憶動作をキャンセルします。

この状態ではチャンネルの調光設定はそのまま残っていますが、フェードタイムは変更前の時間に戻ります。

さらに続けてシーンボタンを押すとそのシーンが再生され、それまでのチャンネル調光設定もキャンセルされます。



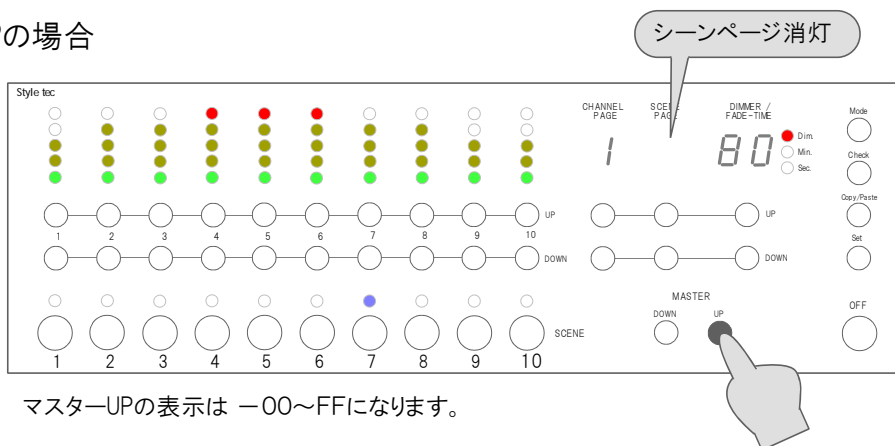
マスターUP/DOWN

マスターUP/DOWNボタン

マスターUP/DOWNは調光に設定したチャンネルにのみ作用します。
(ON/OFFや調色に設定したチャンネルは動作しません)

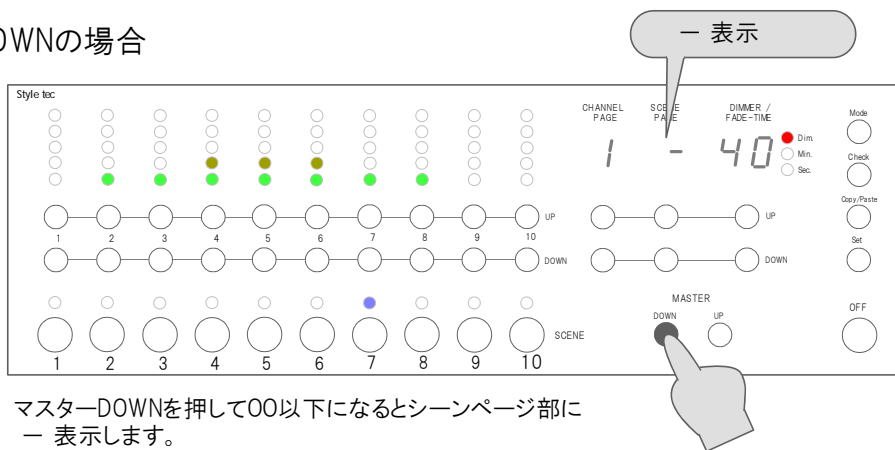
また、全ての調光チャンネルに作用しますが、マスターボタンを
押した時に消灯している調光チャンネルは動作しません。

UPの場合



マスターUPの表示は -00~FFになります。

DOWNの場合



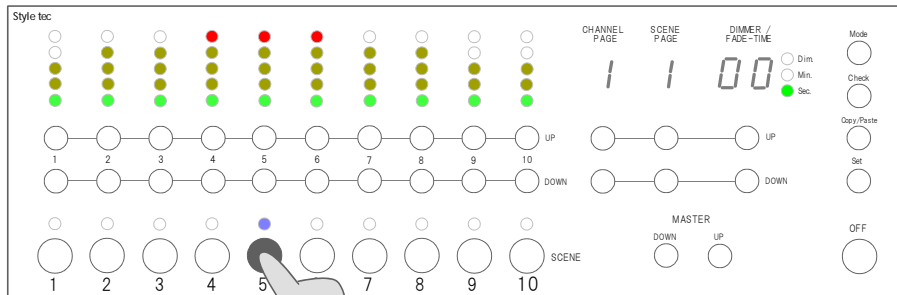
マスターDOWNを押して00以下になるとシーンページ部に
- 表示します。

マスターDOWNの表示は -00~ -FFになります。

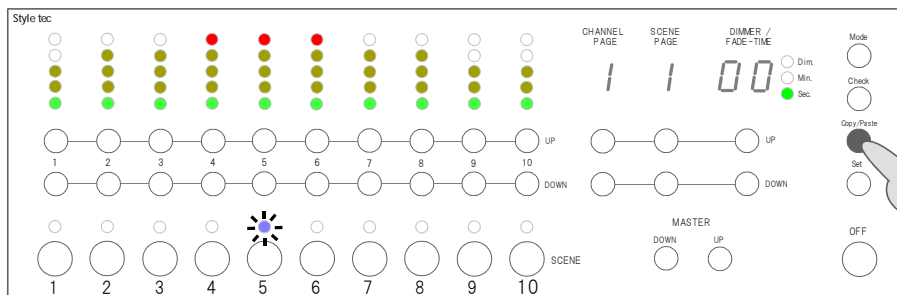
シーンのコピー(1)

ページ内のコピー

コピーボタンでシーンのコピーができます。

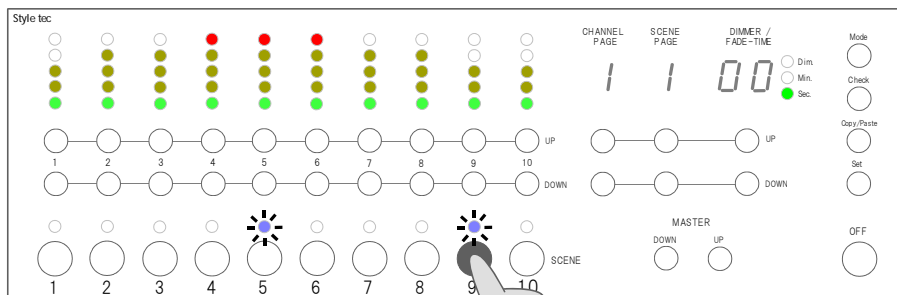


初めにコピー元になるシーンを再生しておきます。

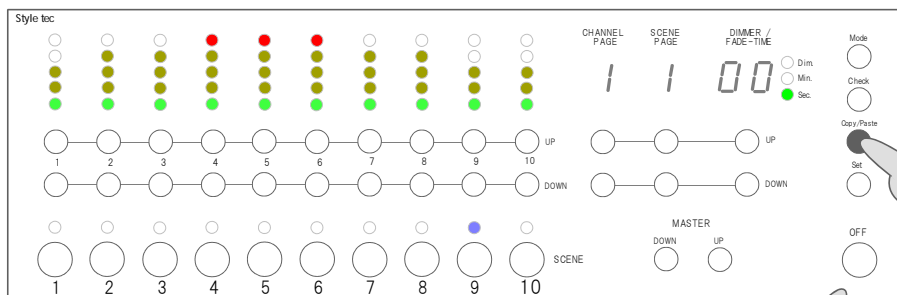


コピーボタンを押す。

次にコピーボタンを押すと、コピー元のシーン表示が点滅します。



続けてコピー先のシーンボタンを押すとシーン表示が交互に点滅します。



もう一度コピーボタンを押すと交互点滅が早くなり
そのまま押し続けると点滅が止まりシーンのコピーが完了します。
早く離してしまうと点滅したままになるので、改めて押し続けてください。

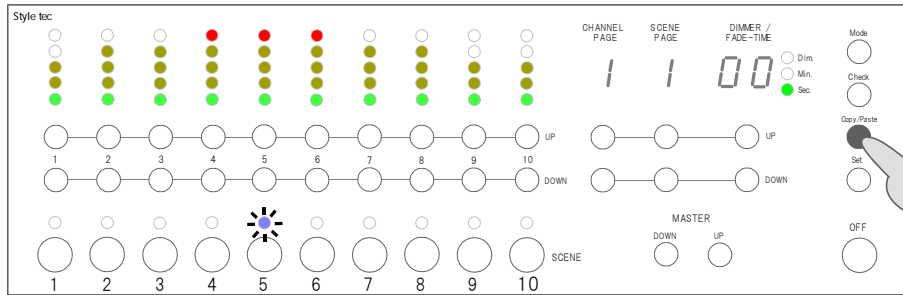
(OFFボタンでキャンセルします。)

シーンの全チャンネル調光設定とフェードタイムがコピーされます。

シーンのコピー(2)

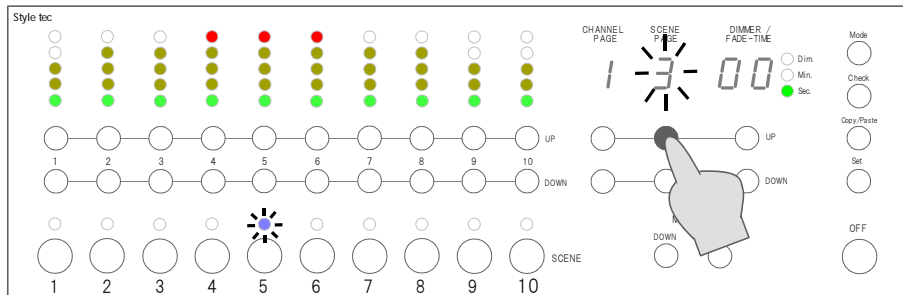
別ページのコピー

別のシーンページのコピー。

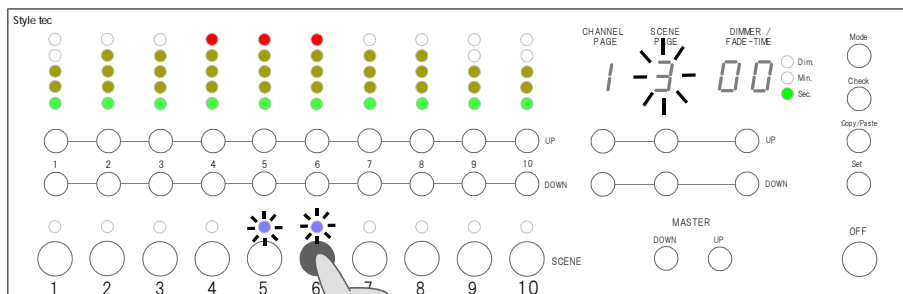


コピーボタンを押す。

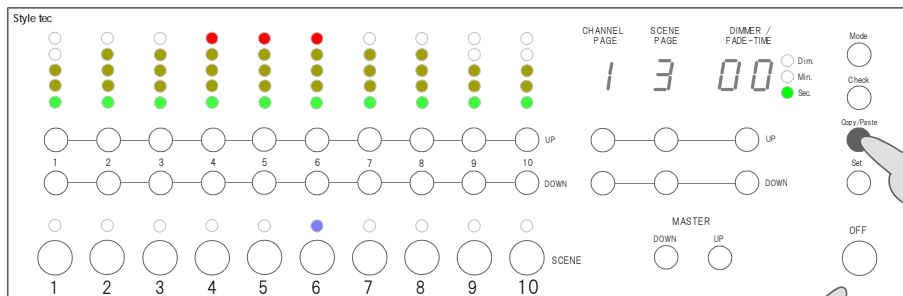
コピー元のシーンを選んでコピーボタンを押します。



シーンページボタンでコピー先のシーンページを選ぶと、
コピー元とコピー先のシーンページを交互に表示します。



続けてコピー先のシーンボタンを押すとシーン表示
とシーンページ表示が交互に点滅します。



もう一度コピーボタンを押すと交互点滅が早くなり
そのまま押し続けると点滅が止まりシーンのコピーが完了します。
早く離してしまうと点滅したままになるので、改めて押し続けてください。

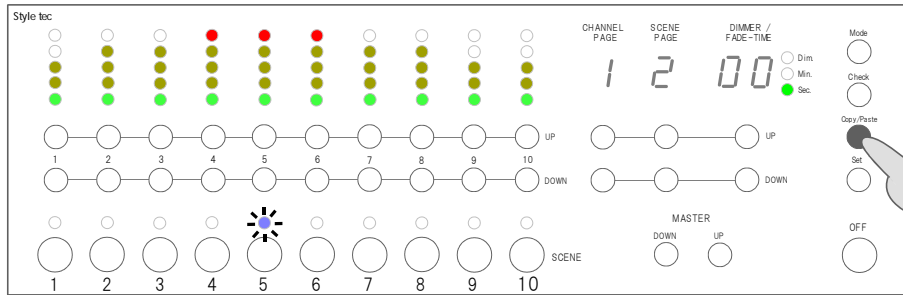
(OFFボタンで
キャンセルします。)

シーンの全チャンネル調光設定とフェードタイムがコピーされます。

シーンのコピー(3)

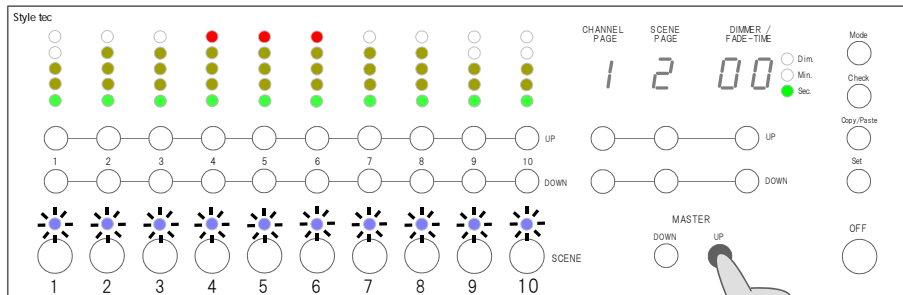
ページ毎のコピー

シーンページ丸ごとのコピー。

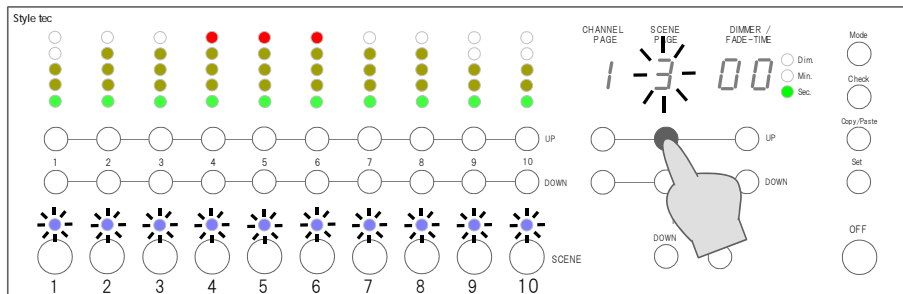


コピーボタンを押す。

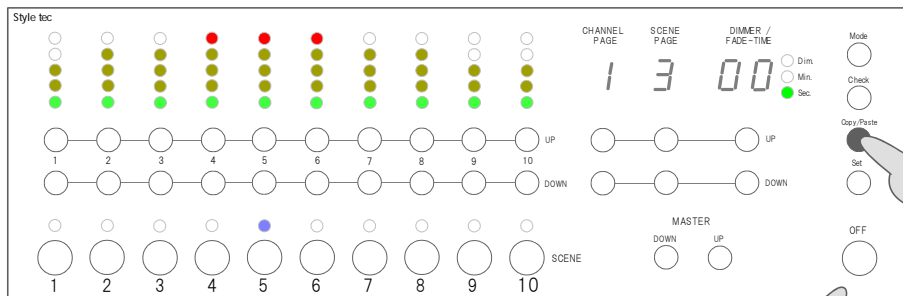
コピー元のシーンページとシーンを選んでコピーボタンを押します。



マスターUPボタンを押すと、コピー元の全シーン表示が点滅します。



コピー先のシーンページを選びます。



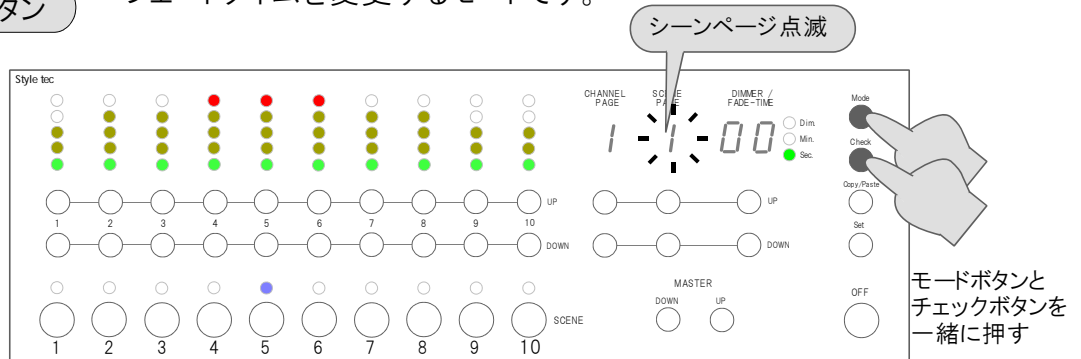
もう一度コピーボタンを押すと交互点滅が早くなり
そのまま押し続けると点滅が止まりシーンページ丸ごとのコピーが完了します。
早く離してしまうと点滅したままになるので、改めて押し続けてください。
(OFFボタンでキャンセルします。)

10シーン分の全チャンネル調光設定とフェードタイムがコピーされます。

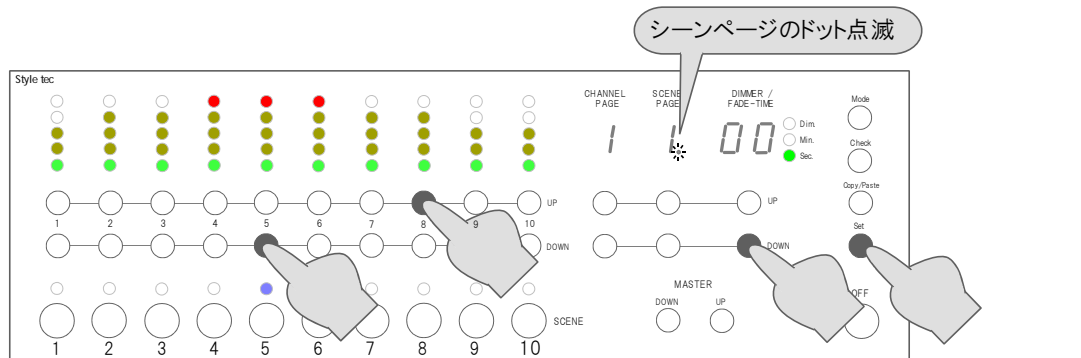
シャドーモード

- モードボタン
- チェックボタン

シーン再生中の照明を変化させずに調光設定やフェードタイムを変更するモードです。



モードボタンとチェックボタンを一緒に押すと、シーンページ表示が点滅します。

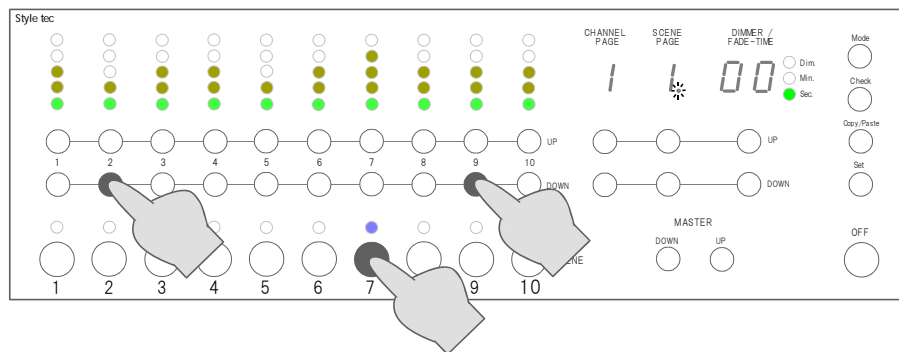


続けてセットボタンを押すと シーンページ表示のドットが点滅して、シャドーモードになります。

その後は通常のシーン設定時と同様に調光値やフェードタイムの変更ができます。

シャドーモード中に、さらに他のモード(シーンコピーやチェックモード)に入ることはできません。

シャドーモード中はボタン操作をしても照明は変化しません。

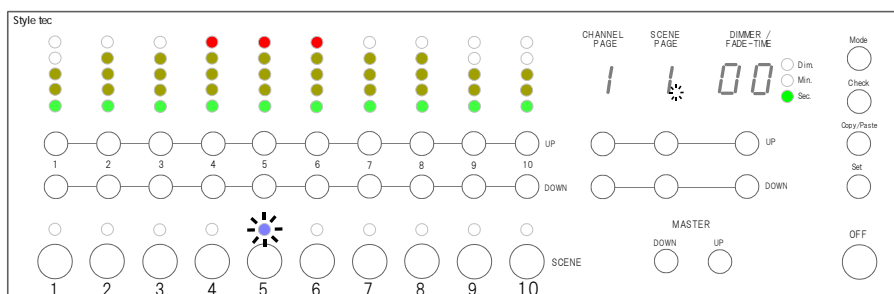


チャンネルUP/DOWNを押しても照明は変化しないので、チャンネル調光表示やディマー表示を見ながら変更します。

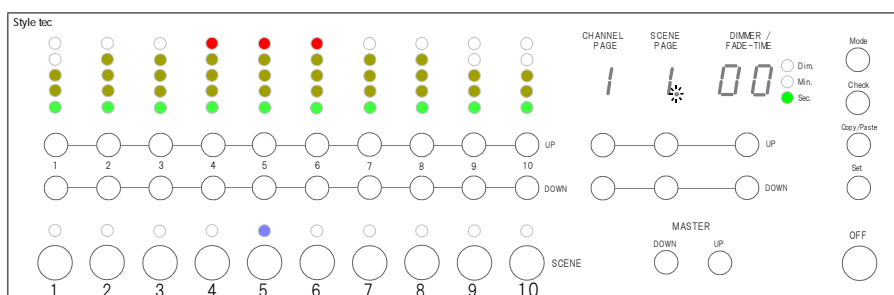
シャドーモードの制限事項

再生シーンがフェード動作中でもシャドーモードに入ることができますが、フェード中のシーンは調光値やフェードタイムを変更することができません。

フェードが終了してから変更してください。



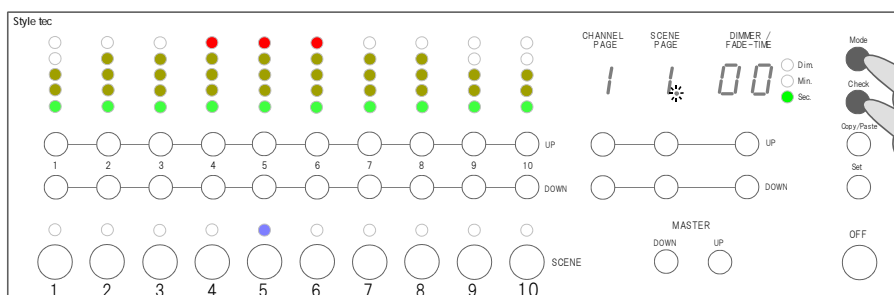
フェード中のシーンを選択するとシーン表示が点滅します。この時は設定変更できないので、フェードが終了するのを待つか他のシーンを選んでください。



フェードが終了していれば現在再生しているシーンも設定変更することができます。

この場合、シャドーモードを抜けたときに変更したシーンではなく元のシーンを再生したままになり、次にそのシーンボタンが押されたときに変更した調光値でシーン再生します。

シャドーモードの解除



モードボタンとチェックボタンを一緒に押す

シャドーモードを抜けるにはモードボタンとチェックボタンを一緒に押します。

OFFボタンで抜けることはできません。

シャドーモードに入る直前のシーン表示に戻ります。

キーロック 1

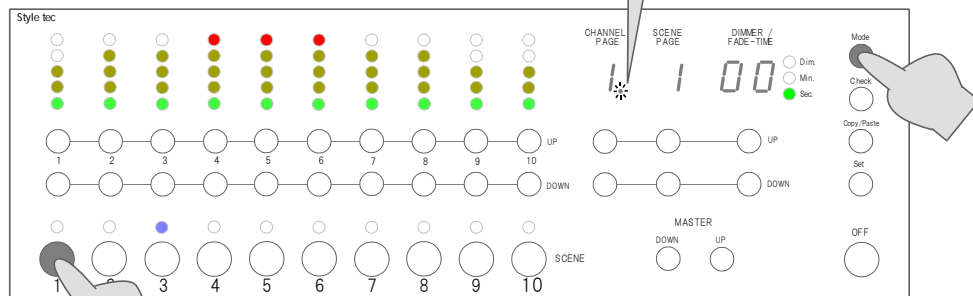
モードボタン

シーン1ボタン

キーロックは通常時のボタン操作を、シーン再生とOFF に限定して誤操作などによるシーン設定DATAの変更を防止するものです。

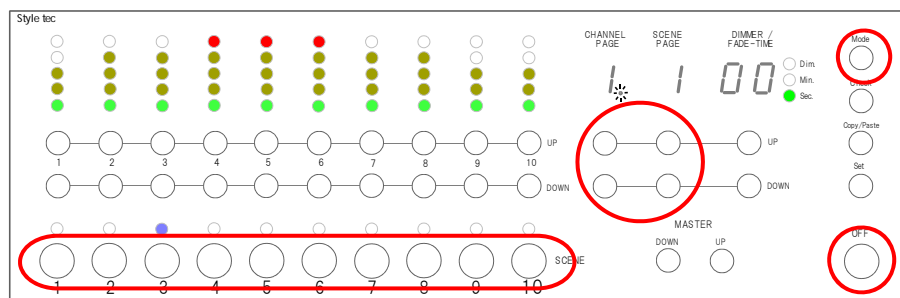
キーロック1はシーン操作だけを行なうことができます。

キーロック1のセット



ONの状態ではモードボタンとシーン1ボタンを一緒に押します。

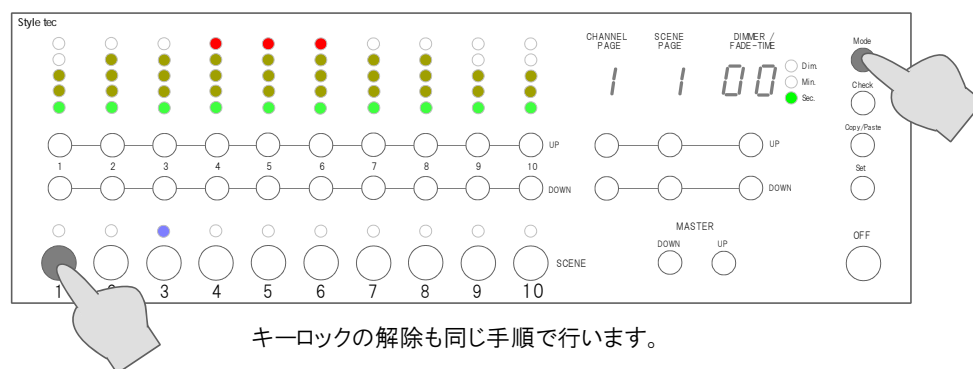
順番は関係ありませんが、先にモードボタンを押せばシーンが切替わってしまうことはありません。



キーロック1の状態では図の丸囲みのボタンだけ動作します。
シーン、チャンネルページUP/DOWN、シーンページUP/DOWN、OFF が有効です。
モードボタンはキーロックの解除のためだけに使用できます。

チャンネルページをUP/DOWNできますが、各チャンネルの表示を切り替えるだけで個々のチャンネルUP/DOWNはできません。

キーロック1の解除



キーロックの解除も同じ手順で行います。

チャンネルページのドットが消灯したら キーロックを解除した状態です。

キーロック 2

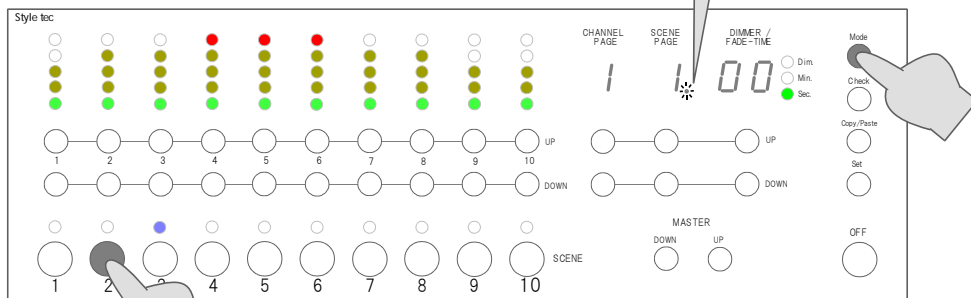
モードボタン

シーン2ボタン

キーロックは通常時のボタン操作を、シーン再生とOFF に限定して誤操作などによるシーン設定DATAの変更を防止するものです。

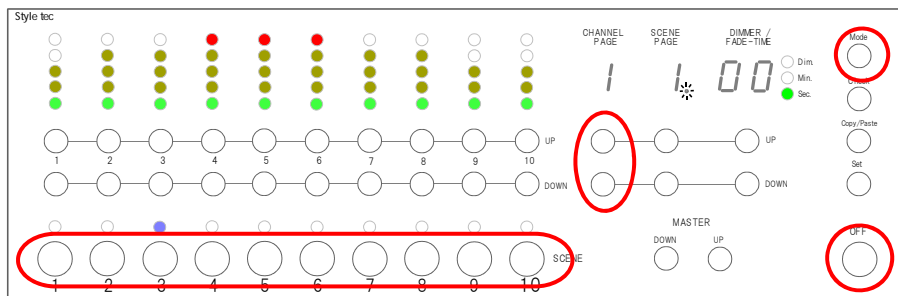
キーロック2はシーンページを限定したシーン操作だけを行なうことができます。

キーロック2のセット



ONの状態ではモードボタンとシーン2ボタンを一緒に押します。

順番は関係ありませんが、先にモードボタンを押せばシーンが切替わってしまうことはありません。

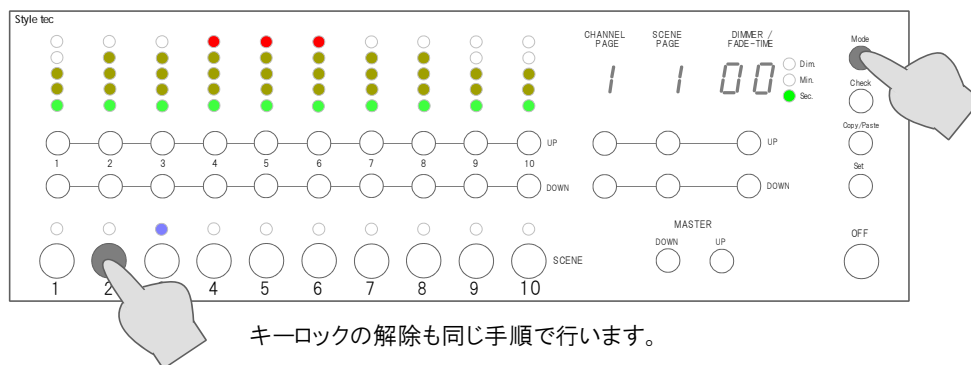


キーロック2の状態では図の丸囲みのボタンだけ動作します。
シーン、チャンネルページUP/DOWN、OFF が有効です。
モードボタンはキーロックの解除のためだけに使用できます。

チャンネルページをUP/DOWNできますが、各チャンネルの表示を切り替えるだけで個々のチャンネルUP/DOWNはできません。

シーンページはキーロック2をセットする直前のページに固定されます。

キーロック2の解除



キーロックの解除も同じ手順で行います。

シーンページのドットが消灯したら キーロック2を解除した状態です。

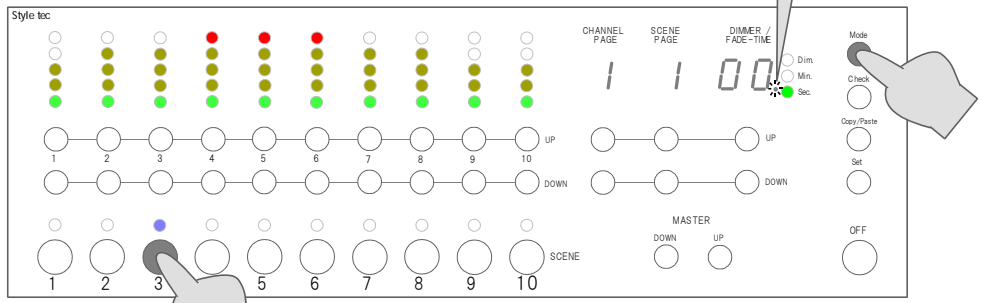
キーロック 3

- モードボタン
- シーン3ボタン

キーロックは通常時のボタン操作を、シーン再生とOFF などに限定して誤操作などによるシーン設定DATAの変更を防止するものです。

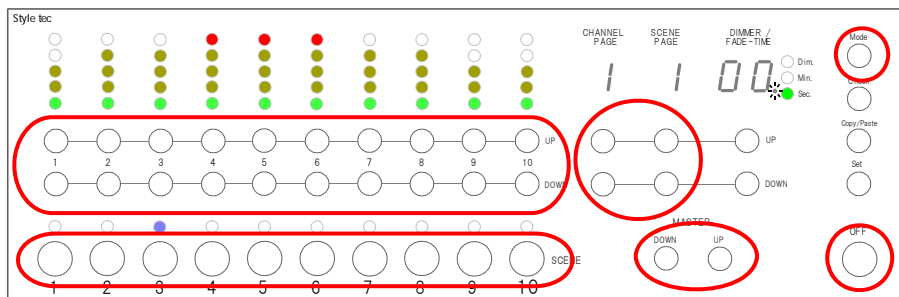
キーロック3はシーン再生の他、マニュアル操作を行なうことができますが、マニュアル操作で変更した調光値を保存することはできません。

キーロック3のセット



ONの状態ではモードボタンとシーン3ボタンを一緒に押します。

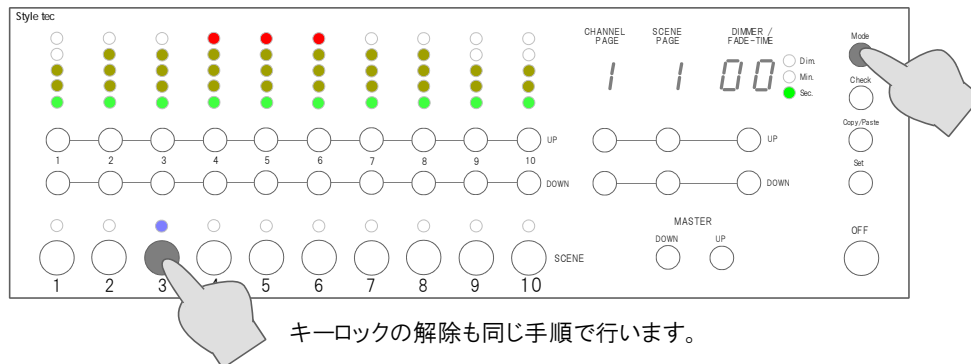
順番は関係ありませんが、先にモードボタンを押せばシーンが切替わってしまうことはありません。



キーロック3の状態では図の丸囲みのボタンだけ動作します。シーン、チャンネルページUP/DOWN、シーンページUP/DOWN、チャンネルUP/DOWN、マスターUP/DOWN、OFF が有効です。モードボタンはキーロックの解除のためだけに使用できます。

個々のチャンネルをUP/DOWNしたり、マスターでチャンネル全体をUP/DOWNできますが、その場限りの変更になり記憶することはできません。

キーロック3の解除



キーロックの解除も同じ手順で行います。

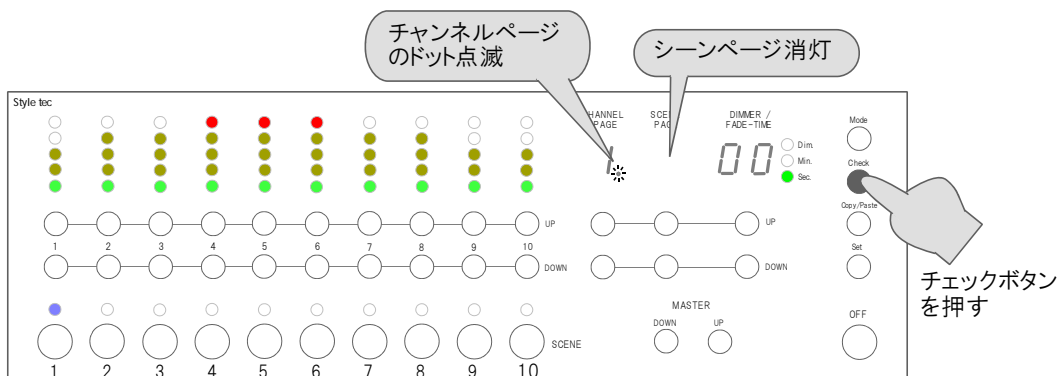
ディマー表示のドットが消灯したら キーロック3を解除した状態です。

その他の機能(1)

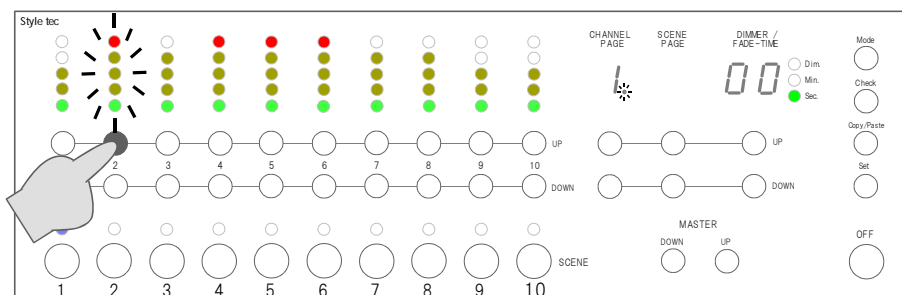
チェックモード

チェックボタン

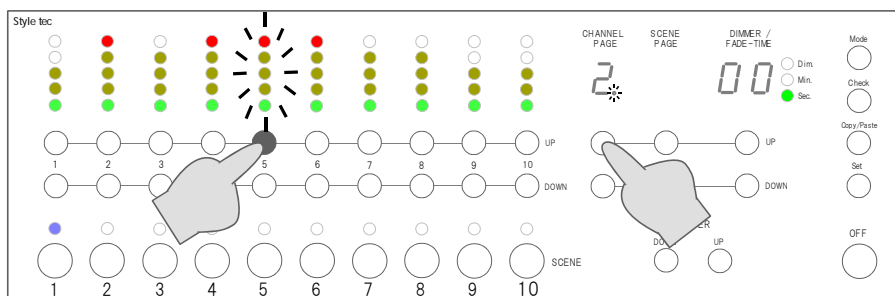
照明器具が調光ユニットに正しく配線接続されているかをチェックします。



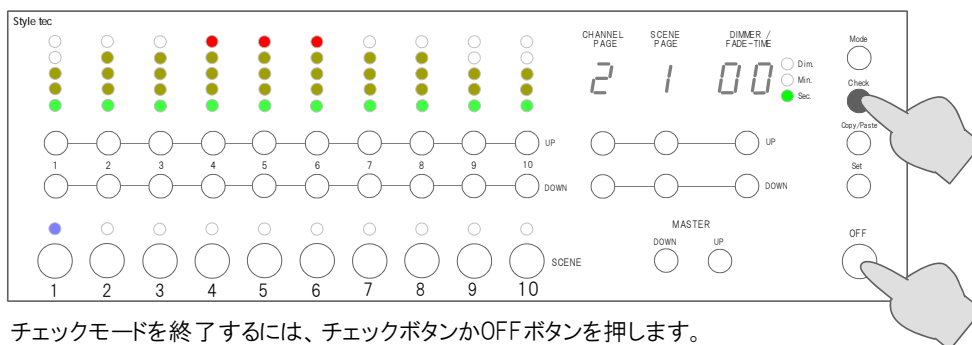
チェックボタンを押すと、シーンページ表示が消灯してチェックモードになります。



チャンネルUPを押すと、そのチャンネルが1秒間隔で点滅します。



続けて他のチャンネルUPを押すと、そのチャンネルが点滅します。
チャンネルページを切替えて全てのチャンネルをチェックできます。



チェックモードを終了するには、チェックボタンかOFFボタンを押します。

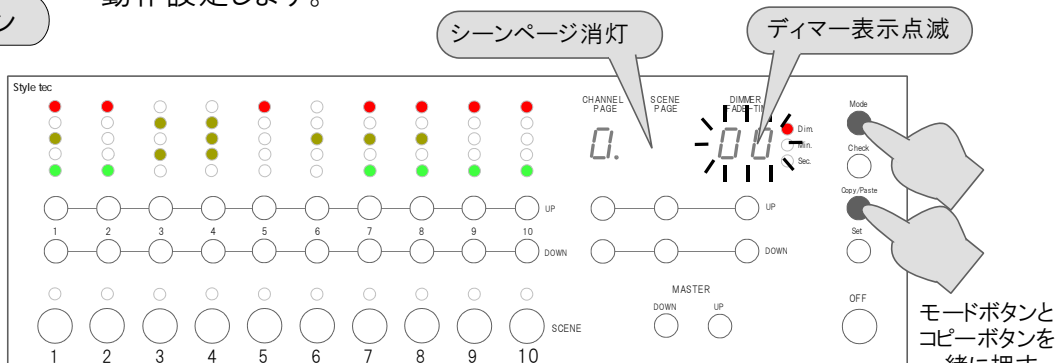
チェックモードが動作するのは調光設定チャンネルだけです。
(ON/OFFや調色のチャンネルは動作しません)

その他の機能(2) -1

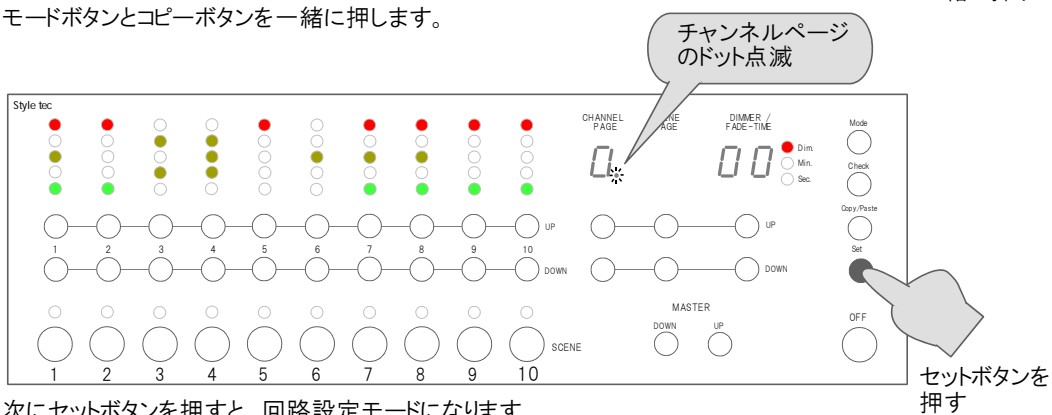
回路設定モード 1

- モードボタン
- コピーボタン

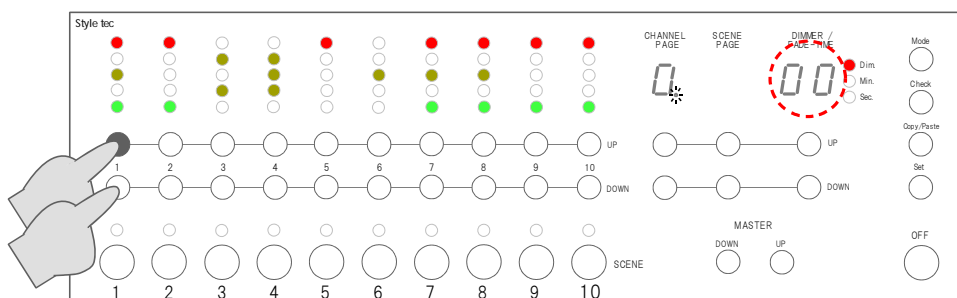
接続した照明器具の特性(属性)に合わせてチャンネル毎に動作設定します。



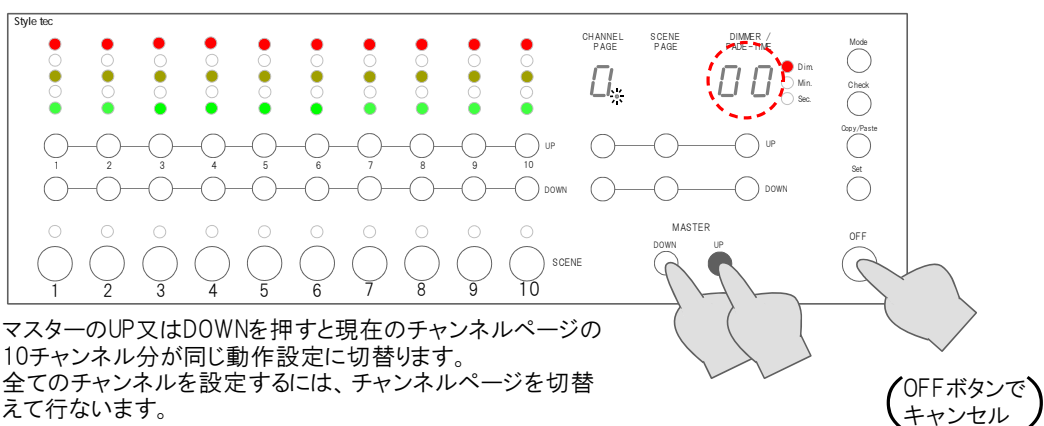
モードボタンとコピーボタンを一緒に押します。



次にセットボタンを押すと、回路設定モードになります。



チャンネルのUP又はDOWNを押す度に動作設定が切替ります。同時にディマー表示も切り替わります。

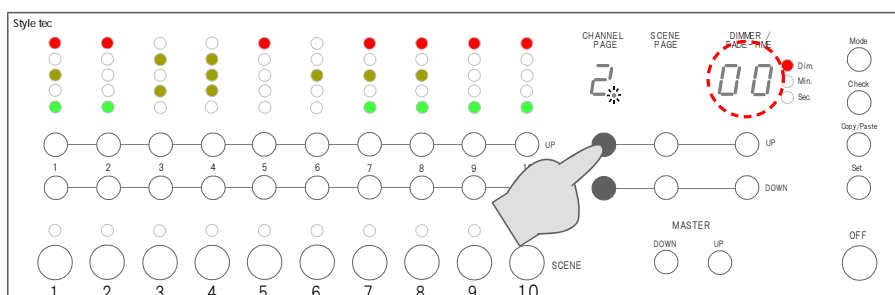


マスターのUP又はDOWNを押すと現在のチャンネルページの10チャンネル分が同じ動作設定に切替ります。全てのチャンネルを設定するには、チャンネルページを切替えて行かないです。

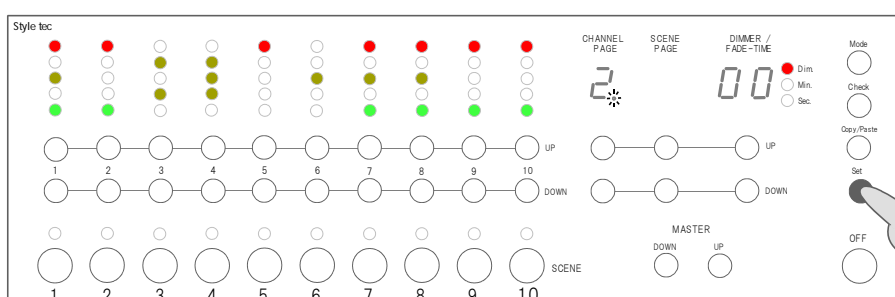
同時にディマー表示も切り替わります。

その他の機能(2) -2

回路設定モード 2



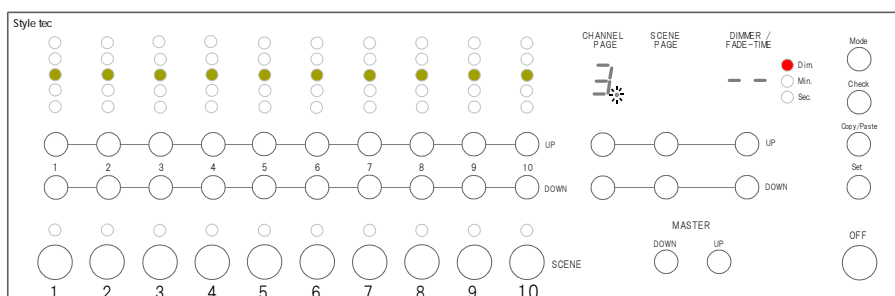
チャンネルページを切り替えて同様の設定を行います。



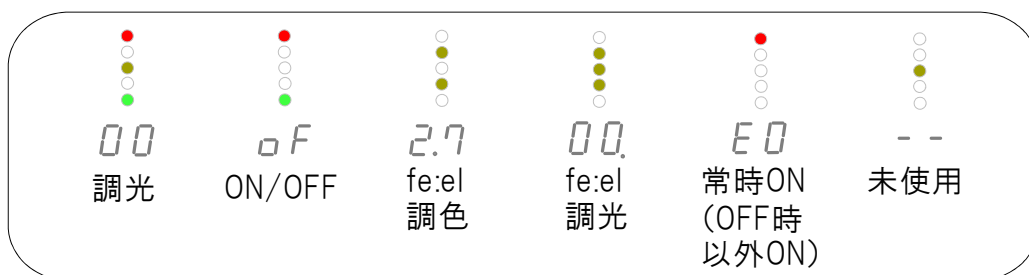
設定が終了したら パネル全体が通常表示になるまでセットボタンを押し続けてください。これで回路設定が記憶されます。

回路設定を変更追加する場合は、最初のモード設定から同様に操作してください。

設定終了したら
セットボタンで記憶
(OFFボタンで
キャンセル)



図のようにチャンネルページ内の全てのチャンネルを未使用に設定した場合は通常の表示でチャンネルページをUP/DOWNした際に、そのチャンネルページをスキップします。



シーン設定後にON/OFF設定に変更したチャンネルは全シーン消灯になります。

逆にON/OFFでシーン設定後に調光に設定変更したチャンネルは変化ありません。